

北インド古典音楽コンサート



Raga music beyond the border

国境を越えた
ラーガ音楽

CAP 20th

@ CAP CLUB Q2, KOBE



インド古典音楽は、インド人だけのものではなく、日米演奏家による自由でスリリングなラーガ音楽。

May. 5, Mon 2014

SCHEDULE

4:30 P.M. OPEN
5:00 P.M. START
7:00 P.M. CLOSE

PIERFOURERS

中尾幸介

ハシロ

DAVID TRASTOFF

PIERFOURERS

STEVE GOORN

ハシロ

TY BURHOE

SCHEDULE

5:00 P.M. CLOSE

3:00 P.M. START

2:30 P.M. OPEN

SCHEDULE

June. 1, Sun 2014

B

6/1

B

5/5

6/1

B

チケットは、会場でお申し込みください。チケットは、会場でお申し込みください。チケットは、会場でお申し込みください。

北インド古典音楽コンサート 国境を越えたラーガ音楽

Raga music beyond the border

かつてはインドという限られた地で育まれた北インド古典音楽(ヒンドウスターニー音楽)は、元はアメリカ人黒人たちの音楽であったジャズのように、すでに国境を越えて広がり、世界中の多くの演奏者や聴衆を惹き付けている。数百種に及ぶ音階型であるラーガと複雑なリズムサイクルであるターラに基づき即興的な演奏のあり方が、再現性にとらわれない自由な音楽を希求する多くの世界の人のびとを魅了してきたのだ。「インドの」という形容詞を使わず「ラーガ音楽」という呼称も使われ始めている。

二人のアメリカ人演奏家が間を置かずに行ってくる。サロード奏者のデイヴィッド・トラソフとパースリー奏者のスティーヴ・ゴーン。二人ともラーガ音楽の世界ではよく知られ、世界中で演奏活動を行ってきた演奏家だ。

この二人のアメリカ人演奏家に加え、やはりアメリカ人タブラー奏者タイ・バーホー、気鋭の若手日本人タブラー奏者中尾幸介、そしてパースリー奏者 HIROS による今回のコンサートシリーズは、即興の芸術である「国境を越えたラーガ音楽」の魅力と越境性のありようを続けて実感できるものになるだろう。

このシリーズが終わると間もなく、好評だった第1弾に引き続き「CAP おんせん」第2弾も同じ場所で開催される。このコンサートは、やはり世界の打楽器となったインドの打楽器タブラーのさまざまな可能性を披露する試みだ。

INFORMATION

日程	[A プログラム]	2014年5月5日(月・休) 開場 16:30 開演 17:00 終演予定 19:00 1部 / HIROS + 中尾幸介 (40分)、休憩 20分、2部 / David + 中尾幸介 (50分)、デュオ (10分)。
	[B プログラム]	2014年6月1日(日) 開場 14:30 開演 15:00 終演予定 17:00 1部 / HIROS + TY(40分)、2部 / STEVE + TY(40分)、3部 / HIROS + STEVE + TY(20~30分)。各ステージ間に 10分休憩あり。
料金	[A + B 通し予約]	一般予約 5,000 円 / 会員予約 4,500 円 5/4 中にご予約下さい
	[各プログラム単独料金]	一般予約 3,000 円 / 会員予約 2,500 円 当日 3,500 円 予約時に A が B がお知らせ下さい

演奏会終了後、出演者を囲んでカレーパーティーあり。ぜひご参加下さい!
カレー 500 円 (売り切れご免!!)

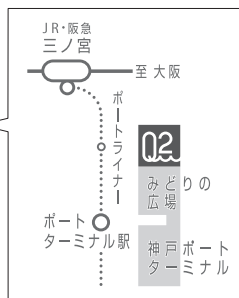
予約・問合せ C.A.P. 事務局 (10:00-19:00 / 月曜休み)
078-222-1003
info@cap-kobe.com
http://cap-kobe.com/

会場 CAP CLUB Q2 / 神戸市中央区新港町 4-3 上屋 Q2
078-959-7707 ※ 当日のみ応答できます

主催 | C.A.P. (芸術と計画会議)

助成 | 公益社団法人企業メセナ協議会

デザイン | こまぬ図考室 (komaimako.jimdo.com)



会員制度について (プログラム案内の郵送、他、特典あり)

C.A.P. の活動は、サポーターメンバー及びフレンズメンバーのみなさまに支えられています。多くのみなさまのご参加をよろしくお願ひします。予約時に入会申込み頂ければ、会員料金にてお受けします。

[C.A.P. サポーターメンバーシップ] 賛助会員制度です。(寄付控除証明あり)	[C.A.P. フレンズメンバーシップ] C.A.P. ファンクラブです。
■ 個人年会費 / 1口 = 10,000 円 (1口以上)	■ 年会費 / 1,000 円
■ 法人年会費 / 1口 = 50,000 円 (1口以上)	

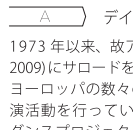
PERFORMERS



NAKAO KOSUKE

A 中尾幸介 / タブラー

1984年大阪市に生まれる。2004年アジアを放浪中、インドの打楽器タブラーに出会う。2007年よりコカタにて、天才的なリズム感覚と知識を兼ね備えたタブラー奏者ピプロップ・パッタチャリヤ氏から学び始める。日本とインドを行き来しながらタブラー演けの毎日を送り、インド音楽をはじめ様々なアーティストと活動中!! 現在京都府宇治市在住。



DAVID TRASOFF

A デヴィッド・トラソフ / サロード

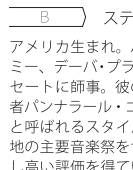
1973年以来、故アリー・アクバル・カーン (1922-2009) にサロードを師事。これまで、アメリカ、インド、ヨーロッパの数々の大学、音楽院、音楽祭などで公演活動を行っている。作曲や録音では映画、演劇、ダンスプロジェクトにも関わってきた。カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校で博士号を取得。同大学インド音楽アンサンブルの音楽監督。また、カリフォルニア芸術大学、カリフォルニア州立大学、オランダのロッテルダム音楽院で教鞭をとる。
http://davidtrasoff.com/



TY BURHOE

B タイ・バーホー / タブラー

アメリカ生まれ。1990年以降、国際的な活躍で知られるタブラー奏者ザキール・フセインにタブラーを師事し、世界各地で演奏活動を行っている。多ジャンルのミュージシャンたちとの共演も多い。最近ではアカデミー賞を受賞したドキュメンタリー映画「Born into Brothels」のサウンドトラックを担当。また、ザキール・フセインのワールド・ツアーのマネジメント、CDレーベル「タラレコード」の立ち上げなどの他、タブラー・ワークショップも定期的に行っている。



STEVE GORN

B スティーヴ・ゴーン / パースリー

アメリカ生まれ。パースリーをゴウル・ゴースワミー、デーバ・プラサード・パネルジー、ラグナート・セートに師事。彼の演奏は、伝説的パースリー奏者パンナラル・ゴシュの「ガーイキー (声楽的)」と呼ばれるスタイルが基礎になっている。インド各地の主要音楽祭を含め世界各地で数々の公演に参加し高い評価を得ている。パースリーの「巨匠ハリープラサード・チャウラヌスィアーは「スティーヴは誰もが誇りを持つべき素晴らしいパースリー奏者である」と評した。参加アルバム「Miho - Journey to the Mountain」は2011年のグラミー賞を得ている。また、アカデミー賞に輝いたドキュメンタリー映画「Born into Brothels」でも演奏に参加した。
http://stevegorn.com/



HIROS

A & B HIROS (中川博志) / パースリー

1950年山形県生まれ。1981年~1984年インドのペナレス・ヒンドゥー大学音楽学部楽理科に留学、インド音楽理論を研究。大学のかたわら、パースリー (横笛)、ヴォーカルを習う。現在、インドのパドマ・ブーシャン (蓮花賞、人間国宝) 受賞者、ハリープラサード・チャウラヌスィアー氏にパースリーを師事している。聲明グループ < 七聲会 > の海外公演、さまざまな演奏会の企画制作、インド音楽理論書の翻訳出版などを通してアジア各国及び日本のパフォーミングアーツ紹介の活動を続けている。訳書『インド音楽序説』は日本語で出版されている唯一のインド音楽理論書。
http://sound.jp/tengaku/

NEXT 『CAP 音泉 #2』@ CAP CLUB Q2 6月14日(土) 開催決定!

■ 出演予定: 岩本象一 (パーカッション) / 大橋一慶 (タブラー) / 金子鉄心 (イーリアンパイプス、ティンホイッスル) / 児嶋佐織 (テルミン) / シモダブヒサ (ギター、E ベース) / 中村好伸 (ギター) / 祝丸 (和太鼓) / HACO (電子楽器、声) / HIROS (パースリー) / 藤澤バヤン (タブラー) / 松本こうすけ (タブラー) / 宮本玲 (バイオリン) / 丁友美子 (クラリネット)、他。

■ 詳細は準備ができ次第 C.A.P. の blog やちらしでご案内します。また、ご希望の方はメールニュースでもお知らせしますので、電子メールでお申し込み下さい (info@cap-kobe.com までご連絡下さい)。